

令和5年度学校だより

草庵先生に学ぶ宿南小学校

# しゅくなみ



No. 1 4

令和5年11月2日

## 《八鹿地区3校連合小学校修学旅行 無事終了しました!》

10月26日～27日、宿南・伊佐・高柳、3校連合6年生による修学旅行を実施しました。今年度もバスで姫路へ、そこから新幹線で広島に向かいました。

1日目は広島駅から徒歩でお好み村へ。ビルの中に屋台風のお店が並び、昼食をいただきました。ご当地で食べる広島焼きはとっても美味しかったです。昼食後は広電に乗り、本川小学校平和資料館へ向かいました。原爆によって被害を受けた校舎の一部を保存した建物で、原爆に関する資料、展示品を見学することができます。吹き飛ばされたコンクリートに、当時の原爆の威力を感じました。平和記念公園では“原爆の子の像”前で、合同セレモニーを行いました。それぞれの学校ごとに平和への誓いの言葉を述べてから、3校26人全員で折った折り鶴を捧げ、「折り鶴」の歌を歌いました。広島平和記念資料館を見学して、事前に学習した戦争や原爆の恐ろしさを現地で実感し、今の平和な暮らしが“当たり前”ではなく“有り難い”ことであると感ずることができました。



2日目は、フェリーで日本三景に数えられる宮島に渡り、世界文化遺産の厳島神社を見学しました。海の上に建つ大鳥居の工事も終わり、鳥居の雄大な姿を目にして、1400年の歴史の重みを感じました。見学後は、お待ちかねのショッピングタイムです。子どもたちは家族や親戚、友だちの喜ぶ顔を思い浮かべながら、楽しんでお土産を買っていました。午後は福山市に移動し、遊園地「みろくの里」へ。突然の雷と雨でアトラクションが停止し、30分の待機の後、メリーゴーランドやバイキング、ウエーブシャークなど、楽しい時間を過ごしました。

この2日間の平和学習や連合校の他の児童とともに経験した様々な体験は、6年生の子どもたち3名にとって小学校生活一番の思い出として心に深く刻まれたことと思います。

事前の体調管理、旅行中のバス乗降時の手指消毒、食事会場や宿泊ホテルのフロア貸し切りなど、保護者の皆様、旅行会社の方、旅先で関わった多くの方々にお世話になり、1泊2日の修学旅行を無事に終了することができました。



お好み村で昼食

本川小学校平和資料館



原爆ドーム前

原爆の子の像



ホテルで夕食



厳島神社



みろくの里

## 《 小学校・地域合同避難訓練を行いました！ 》

10月24日、水害に対する避難訓練を行いました。大雨で青山川が増水し、大雨・洪水警報発令による避難を想定した、小学校・地域合同避難訓練でした。避難訓練には、こども園の園児や地域の方の参加もありました。3階のモミの木ホールに避難する際、「おはしも」の約束を守って、おさず、はしらず、しゃべらず、もどらずに行動することができていて、大変立派でした。

集会では、兵庫県震災・学校支援チーム（EARTH）、五荘小学校の貝嶋理一先生のお話を聞いて、水害から身を守るためにできることを学びました。「台風が発生」してから「川の水が氾濫」するまでの時間や、避難のタイミングと避難の仕方、避難に役立つ情報の集め方について教えていただきました。また、いつも先生やお家の人と一緒にいるときばかりとは限らないので、自分一人ならどうするか、学校以外で起こったらどこに避難するのか、いつもの通学路を通して帰宅するときどんな注意が必要か、と考える大切さも学びました。お話の後には、避難所で使用する段ボールベッドの組み立てを縦割り班で協力して行いました。

大きな水害の経験がない子どもたちです。今後、被害にあったり、避難したりするような状況がおこらないでほしいと願いますが、もし起こったらと想定した訓練を継続するとともに、次の世代に語り継ぐことの大切さを実感した時間となりました。



## (宿南小学校・地域合同避難訓練を終えて)

- ・静かにきちんと避難できてよかったです。もしもこんなことが起こったら、静かに放送を聞いて避難したいです。
- ・大雨警報が出て、すぐに川があふれるんじゃないかと、時間をかけて雨や風が強くなるので、早めに余裕を持って避難することが大事だなと分かりました。
- ・洪水などの水害に備えて、準備を日頃からしておこうと思いました。18年前は、宿南も水に浸かって学校の校庭も体育館も近くの家も、泥だらけになり大変だったと思います。大雨の時は土砂災害にも気をつけようと思いました。
- ・「おはしも」の約束を守ることができました。走らないで動けました。階段の近くで友だちと喋らないように気をつけました。
- ・段ボールベッドは簡単に作れると思ったけど難しかったです。こども園さんが1年生になったら、私たちが作り方を教えてあげたいです。
- ・貝嶋先生のお話を聞いて、家の2階とか、学校の上の方とかに避難することが大切だなあってわかってよかったです。川の水があふれそうなときは近づきません。
- ・災害の恐ろしさを体験していない子どもたちにとって、避難訓練はもとより話を聞いたり映像を見たりして伝えつないでいくことは意義あることだと思いました。

## 《 3・4年生 研究授業 》

10月31日に、講師の先生をお招きして3・4年生の複式学級で算数の授業研究を行いました。教室の前と後ろで、菅原先生と紅田先生が入れ替わりながら3年と4年の学習を進めていきます。3年生も4年生も、関係図を使って問題を解く場面でした。それぞれがめあてを持って授業に臨みました。ガイド役が授業を進める手法を用い、児童が解き方を説明します。その説明に対しておたずねをして考え方や解き方を出し合い、対話しながら主体的に学ぶことを目指しています。複式学級も含めた少人数のきめ細やかな指導法について、本校教員は指導力向上を目指して日々研究しています。

